

市長提案説明要旨から

市議会6月定例会は、6月8日に招集され、6月21日までの会期で開催されました。定例会初日に行われた市長説明の要旨をお伝えします。

電算システム統合

能代山本7市町村の枠組みで取得した電算機器類は能代市が取得する形でいったん清算し、能代市と二ツ井町の合併にかかわる電算システム構築に活用していくこととしました。

システムの構築に当たっては、既存システム・機器類の活用なども図りながら、住民サービスに支障のないよう合併時の確実な安定稼働を最優先することとしています。

安心して生き生きと暮らせるまちづくりのために

住吉町住宅については、市が現在地に百戸程度を目標に木造で建て替え、それ以外の戸数確保分については、能代商工会議所・TMO能代から、「畠町通り周辺へ公営住宅を配置し、定住人口の増大を図る」という提案がされました。また、海潮園については、改築候補地を含め、改めてその方向性を検討していきます。

小学校の統合による湊城第二小学校の校舎および敷地の利活用については、統合に関する説明会の場でさまざまな意見が出されていますが、これから、利活用の方向性について検討していきます。

東能代のまちづくりについては、地域住民とともに進めることが望ましいと考えており、まちづくり組織を立ち上げていただき、地域の方々と一緒になつて東能代中学校跡地の利用なども含めた協働のまちづくりの方向性を検討していきます。

松くい虫対策

今年度からこれまでの防除に加え、国営事業による松くい虫被害先端地域特別対策事業が実施されます。

実施予定区域である黒岡、五雲岱、竹生地区などの山林所有者の皆様には、事業実施に当たつての大臣命令書が交付されており、山林所有者のご協力をいただき、伐倒駆除、薬剤散布に取り組んでまいります。

協働と納得のまちづくり

市民が主体的に自分たちの地域を考え、行政は市民の力を引き出し、応援し、市民と行政が対等の立場で協力し合つてまちづくりに挑戦していくことが、市民が納得できる地域づくりにつながっていくと考えます。

常盤地域では、豊かな自然の中で育まれる地域農業の活性化とスポーツを通じたコミュニティの構築を目指し、さまざまな活動を展開しています。

鶴形地域においては、特産のそばを活用した地域の活性化を中心にまちづくり活動を展開しています。

檜山地域については、総合的な将来像の方向付けのため、政策課題検討・推進庁内会議の部会として、檜山地域まちづくり課題検討部会を5月に設置



鶴形そばまつり

し、庁内での検討を始めています。このような地域の特色を活かした地域づくりのほか、除排雪をテーマにしたワークショップや通学路の安全確保といった地域課題解決においても協働の取り組みが行われています。

こうしたまちづくり活動を通じて、新たな人のつながりが生まれ、それが次の活動へとつながっていく展開も見え始めており、引き続き、協働の取り組みがほかの地域にも広がっていくよう働きかけてまいります。

国・県に対する要望書提出

国の来年度予算の概算要求に向け、国・県に対する要望書を、6月3日、県知事に提出しました。

提出した要望事項は、「秋田社会保険病院の存続・充実」、「木材産業振興への支援」、「風の松原等松林保全のための松くい虫対策」、「中心市街地の整備促進」など継続して要望したものが9項目。

新規要望は、「能代警察署の建て替え及び旧第一保育所敷地の取得」、「高等学校の再編」のほか、新市において能代二ツ井の両地域を結ぶために重要となる「主要地方道能代二ツ井線の拡幅改良」の3項目、合わせて12項目について県知事に直接お会いして内容を説明し、要望しました。